

民有林への列状間伐（搬出間伐）の導入定着をめざしたモデル林の設置

檜山森林管理署

背景（地域の課題）

- ① 路網未整備等により未間伐林分が多い。
- ② 搬出間伐の出来る事業体が少ない。
- ③ 集約化等が進まず間伐コストが高い。



将来目標

生産性の向上（コストの削減）
や労働安全性の向上等、地域に
あった作業システムを構築



平成27年度の実績結果

列状間伐モデル林の設置

八雲町・厚沢部町・乙部町の民有林に設置

○モデル林設置の目的

列状間伐が「主伐の際に良質な木材が生産できないのでは」「残した立木に損傷するのではないか」などの悪いイメージを払拭し、高効率な作業システムによる列状間伐を普及定着させる。

○国有林の主な支援の内容

モデル林設置に係わる、候補地の掘り起こしや現地踏査、林分調査等の技術的な支援

○現地検討会の開催

振興局、森林室、管理署との検討会においては、

- ・列状間伐が「効率的で低コストであり収益性がよい」「伐採の際に安全性も確保出来る」などのメリットや定性間伐との経費差等について。
- ・様々な列状間伐の方法や高性能林業機械を使用した作業システムの紹介。
- ・モデル林のリーフレット等を作成し普及PRに利用するなどの活用方法等を提案。

意見交換では、

- ・列状間伐を実施して効率的であることは分かったが、当地域民有林では小規模事業者が多いことから現有林業機械等を用い作業システムを考えることも大切であるとの意見が出された。

八雲町のモデル林 （私有林 トドマツ・スギ）



厚沢部町のモデル林 （私有林 トドマツ）



乙部町のモデル林 （町有林 スギ）



今後に向けて

民有林モデル林を活用した現地検討会等の支援に取り組む

- ① モデル林のリーフレット等を作成し列状間伐の普及PRに努める。
- ② 市町村林務担当者、プランナー、林業事業者等に対して列状（搬出）間伐に対して理解を得、強いては一般民有林へ普及するような検討会や勉強会の開催。